

2009年

今月の逸品 1

翁問答

(中江藤樹 著・天保 2(1831) 年磨減補刻・東都書肆)

「近江聖人」と称えられた江戸時代初期の陽明学者、中江藤樹の著書です。

本書は寛永 18 (1641) 年に成立し、藤樹の死後に刊行されました。仮名文の問答体で書かれた儒教の入門書として、江戸時代の末まで広く読まれます。藤樹が朱子学から陽明学に転じた時期の思想形態がうかがえる著作とされます。



往生要集

(源信 著)

寛和元 (985) 年に、比叡山横川の恵心院の僧都・源信によって書かれた仏教書。全三巻。

浄土教の観点から極楽浄土に関する重要な文章を、多くの仏教の経典や論書から集めており平安時代の浄土教信仰を代表する書です。

本書が後世の浄土教思想・文学・美術等に与えた影響は計り知れず、最も多く人に読まれた仏書とされています。

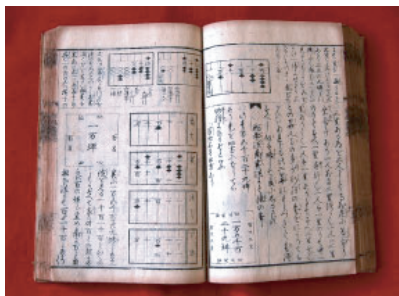


新編塵却記大全

(吉田光由 著・吉田長穀 訂正・明治 18 (1885) 年・大阪岡本明玉堂)

塵功記は、江戸時代初期につくられた日本で最古の数学書の一つ。

内容としては大小の数や単位の名義から、米・布の売買、貨幣の両替、利子の計算、土地の面積、器物の体積など、日常生活に必要な計算を懇切に説明しています。



海上保安庁 七管・門司かるた

(2008 年)

子どもから大人まで楽しみながら海上保安庁の業務について知ってもらうことを目的に製作されたカルタで、昨年末、三池海上保安部より当館に寄贈していただきました。

発案したのは、門司海上保安部の松下由紀香さんと、海保の認知度をアップさせようと自ら絵札も手がけられたそうです。同海保のHPで公開中。



創草百花 (ハーブかるた)

(2008 年・創草塾制作)

このカルタは、京都府宇治市の市民団体「創草塾」の創立 1 周年を記念して制作されたカルタです。

創草塾はハーブなどの薬草を育てたり勉強したりして、健康や楽しみに生かそうと活動している団体で、塾生以外の人にもハーブのことを知ってもらおうとカルタ制作を企画。

ミントやカモミールなどなじみ深いハーブを含め 100 種類の植物を選び、絵札には写真と学名、読み札にはその成分や効能などの情報が記されています。



再現「源氏歌かるた」

(2008 年)

2008 年の源氏物語千年紀に合せて、当館が企画・制作したカルタです。

カルタの台紙作りは市内の表装グループ有志に依頼し、職人による手作業の工程を忠実に再現。

字札の文字は、市内在住の書道家小柳少華先生の筆になり、平安かなによる「源氏」54 帖から和歌各一首ずつがしたためられ計 108 枚が完成しました。読み札は和歌一首、取り札には下の句のみが書かれています。

